

●博士後期課程授業科目と単位数・履修方法(2023年度入学者)

授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数	授業科目の名称		単位数
増殖生物学専門分野	水族増殖学特別講義	2	環境生物学専門分野	魚類生態学特別講義	2	応用生物化学専門分野	食品化学特別講義	2
	水族増殖学特別演習	4		魚類生態学特別演習	4		食品化学特別演習	4
	水族増殖学特別実験	4		魚類生態学特別実験	4		食品化学特別実験	4
	海洋分子生物学特別講義	2		海洋無脊椎動物学特別講義	2		海洋生物化学特別講義	2
	海洋分子生物学特別演習	4		海洋無脊椎動物学特別演習	4		海洋生物化学特別演習	4
	海洋分子生物学特別実験	4		海洋無脊椎動物学特別実験	4		海洋生物化学特別実験	4
	水族生理学特別講義	2		環境微生物学特別講義	2		海洋生物資源化学特別講義	2
	水族生理学特別演習	4		環境微生物学特別演習	4		海洋生物資源化学特別演習	4
	水族生理学特別実験	4		環境微生物学特別実験	4		海洋生物資源化学特別実験	4
	水族病理学特別講義	2		水圏植物学特別講義	2		水族機能生物学特別講義	2
	水族病理学特別演習	4		水圏植物学特別演習	4		水族機能生物学特別演習	4
	水族病理学特別実験	4		水圏植物学特別実験	4		水族機能生物学特別実験	4
	水族育種生物学特別講義	2		深海生物学特別講義	2	小計(12科目)	40	
	水族育種生物学特別演習	4		深海生物学特別演習	4			
	水族育種生物学特別実験	4		深海生物学特別実験	4			
小計(15科目)	50	小計(15科目)	50	合計(42科目)	140			

●履修方法

講義科目、演習科目および実験科目を3年間で履修する。

「講義科目」それぞれの専門分野の特別講義を1科目、2単位以上修得
 「演習科目」それぞれの専門分野の特別演習を1科目、4単位以上修得
 「実験科目」それぞれの専門分野の特別実験を1科目、4単位以上修得

【履修方法】

	科目数	単位	
専門分野	特別講義	1	2
	特別演習	1	4
	特別実験	1	4
	合計	3	10

●博士論文の作成と最終試験

博士後期課程の3年間の研究を博士論文にまとめ、その内容を口頭発表して質疑に答えて(最終試験)、これに合格しなければならない。

なお、博士論文の研究内容は2年間以内に、国内外の学術誌へ投稿して発表することになっている。

●学位の授与

3年以上在籍し、上記の授業科目を履修して必要単位数を取得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すると、博士後期課程を修了し、博士(水産学)の学位が授与される。

●博士後期課程授業科目と単位数・履修方法（2022年度以前入学者）

授業科目の名称		単位数
増殖生物学専門分野	水族増殖学特別講義	2
	水族増殖学特別演習	4
	水族増殖学特別実験	4
	海洋分子生物学特別講義	2
	海洋分子生物学特別演習	4
	海洋分子生物学特別実験	4
	水族生理学特別講義	2
	水族生理学特別演習	4
	水族生理学特別実験	4
	水族病理学特別講義	2
	水族病理学特別演習	4
	水族病理学特別実験	4
	水族育種生物学特別講義	2
	水族育種生物学特別演習	4
	水族育種生物学特別実験	4
小計（15科目）	50	

授業科目の名称		単位数
環境生物学専門分野	水圏生態学特別講義	2
	水圏生態学特別演習	4
	水圏生態学特別実験	4
	沿岸生物学特別講義	2
	沿岸生物学特別演習	4
	沿岸生物学特別実験	4
	環境微生物学特別講義	2
	環境微生物学特別演習	4
	環境微生物学特別実験	4
	深海生物学特別講義	2
	深海生物学特別演習	4
	深海生物学特別実験	4
小計（12科目）	40	

授業科目の名称		単位数
応用生物化学専門分野	食品化学特別講義	2
	食品化学特別演習	4
	食品化学特別実験	4
	海洋生物化学特別講義	2
	海洋生物化学特別演習	4
	海洋生物化学特別実験	4
	海洋生物資源化学特別講義	2
	海洋生物資源化学特別演習	4
	海洋生物資源化学特別実験	4
	水族機能生物学特別講義	2
	水族機能生物学特別演習	4
	水族機能生物学特別実験	4
小計（12科目）	40	

合計（39科目）	130
----------	-----

●履修方法

講義科目、演習科目および実験科目を3年間で履修する。

「講義科目」それぞれの専門分野の特別講義を1科目、2単位以上修得

「演習科目」それぞれの専門分野の特別演習を1科目、4単位以上修得

「実験科目」それぞれの専門分野の特別実験を1科目、4単位以上修得

【履修方法】

		科目数	単位
専門分野	特別講義	1	2
	特別演習	1	4
	特別実験	1	4
	合計	3	10

●博士論文の作成と最終試験

博士後期課程の3年間の研究を博士論文にまとめ、その内容を口頭発表して質疑に答えて（最終試験）、これに合格しなければならない。

なお、博士論文の研究内容は2年間以内に、国内外の学術誌へ投稿して発表することになっている。

●学位の授与

3年以上在籍し、上記の授業科目を履修して必要単位数を取得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すると、博士後期課程を修了し、博士（水産学）の学位が授与される。